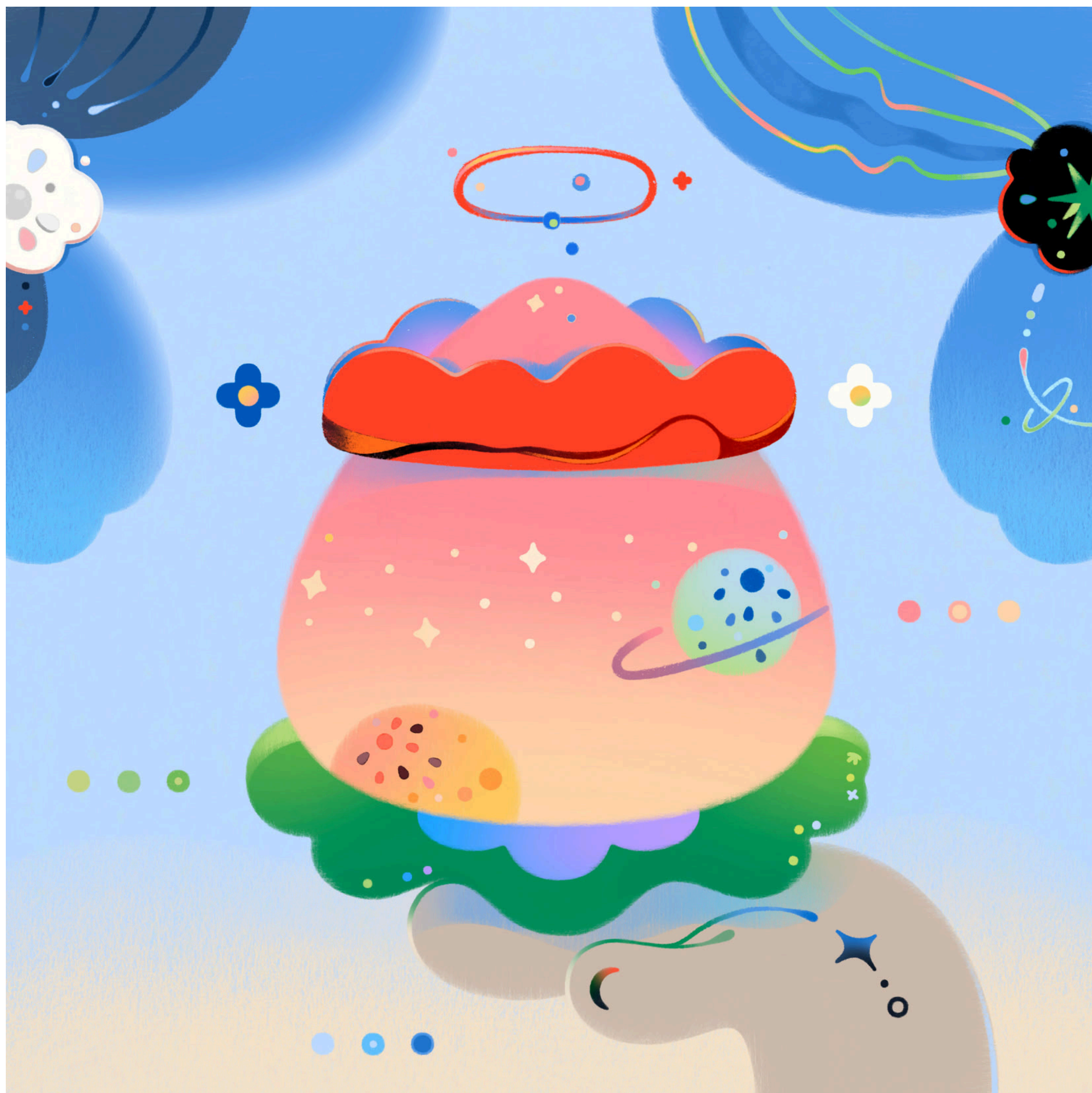
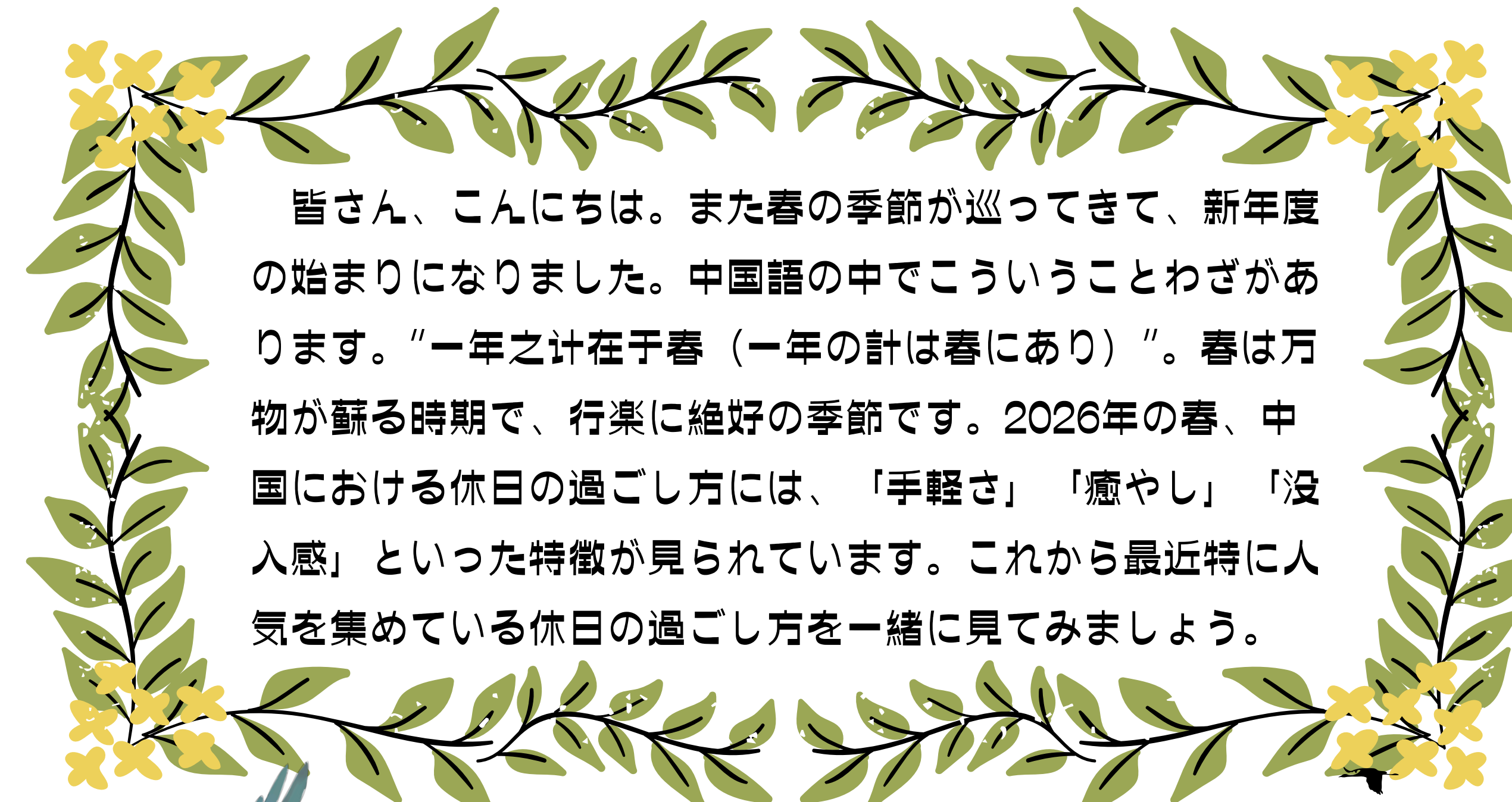


わくわく中国文化




—最近中国で流行っている休日の過ごし方—

Illustration by KOH_HSL(instagram)



皆さん、こんにちは。また春の季節が巡ってきて、新年度の始まりになりました。中国語の中でこういうことわざがあります。“一年之计在于春（一年の計は春にあり）”。春は万物が蘇る時期で、行楽に絶好の季節です。2026年の春、中国における休日の過ごし方には、「手軽さ」「癒やし」「没入感」といった特徴が見られています。これから最近特に人気を集めている休日の過ごし方を一緒に見てみましょう。



1. 「気軽なアウトドア」型社交：潮干狩り・たけのこ掘り・バードウォッチング

現在、気軽にアウトドアすることは一般的なライフスタイルの一つになっています。こうした活動は、ハードルが低く、気軽に参加しやすい交流の形でもあります。

潮干狩りとたけのこ掘り：広東省の^{しんせん}深圳市や山東省の日照市や海南省の陵水市などの沿海都市は「潮干狩りの時刻表」まで作成されています。若者たちはプロ並みの設備をそろえ、浜辺でブラインドボックスを開くかのようなわくわく感を味わっています。また、家族連れにとっては、たけのこ掘りも休日の定番の過ごし方になっています。

バードウォッチング：生態環境がよくなるにつれて、バードウォッチングは一部の人の嗜好から大衆娯楽に変わりました。四川省の成都市や広東省の広州市などでは、都市公園だけではなく、オフィスの窓から渡り鳥の移動を眺めることも、会社員にとっての「癒やしの時間」になっています。





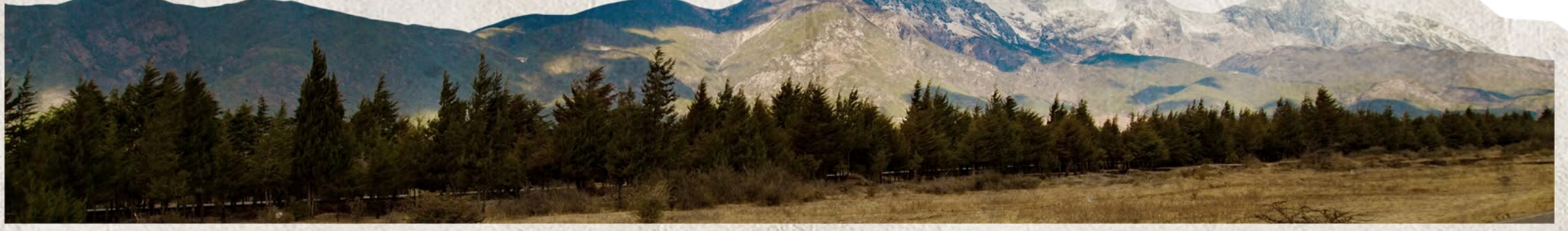
2. 演芸と展覧のブーム

コンサート、音楽フェス、イマーシブシアター（没入型演劇）は、依然として高い人気を集めています。人々は、ただ鑑賞するだけではなく、自ら体感し、感情移入できる体験を求めています。また、中国の各都市の市立博物館や省立（*日本の県立にあたる）博物館での展覧はほとんど無料で、事前予約をすれば精神と視覚の饗宴を楽しむことができます。

3. 「OO友」文化はさらなる細分化

SNSの普及と発達により、現代人は様々な分野で気の合う仲間を見つけて、一緒に活動できるようになりました。例えば、共にジムに行く人や、運動場でバドミントンやバスケットボールをする人は「健身搭子（ジム友、運動友）」と呼ばれています。高級レストランの食事代を分けるために共に食事する人は「飯搭子（ご飯友）」、相乗りして郊外へハイキングする人は「户外搭子（アウトドア仲間）」と呼ばれています。





4. 穴場の観光地

旅行の際、混雑した名所や有名観光都市を意識的に避ける傾向があります。その代わりに、絵のように美しい景色が楽しめる場所や、リラックス感の漂う場所を選ぶようになっていきます。例えば、新疆ウイグル自治区のアルタイ地区や雲南省のプーアル市などです。また、地方の中小都市にも訪れます。観光地を巡るのではなく、現地の人のように市場をぶらぶらしたり、朝から飲茶をしたりして、地元の人々の生活スタイルを体験することが、もっとも癒やされる過ごし方になっています。

